

## 1月11日

### 大般若



7 \_\_志佐町や福島町の一部の地区で受け継がれる伝統行事。志佐町里地区では、還暦を迎える富本正さんが經典の入った箱を担ぎ、近藤美和子さんが玄関先を海水で清め 250 戸以上の家をまわった。

### 調川町 鬼火たき



8 \_\_同町松山田地区の有志によって行われていたものを調川地域まちづくり運営協議会「調創会」が昨年から継承。毎年1月7日開催だが強風で延期していた。地域住民らは高く燃える炎を見上げ、無病息災を祈った。

## 1月13日

### 武道始め式



9 \_\_少林寺拳法協会の福島まひろさんが「文武両道に習い、精進していきます」と新年の抱負を述べ式典がスタート。10 \_\_3 団体、約 30 人が形や稽古の様子を披露した。

## 1月14日

### 上志佐 もぐら打ち



11 \_\_松本秀雄さん（志佐・笛吹）を講師に迎え、上志佐小1・2年生17人と上志佐保育所45人の児童が体験。「14日のもぐら打ち、餅やらんもんはしはやしことばわんぼう…」とはやしことば囃子詞を唱え園庭をたたいた。

1月5日

### 星鹿町 もぐら打ち



1

1 \_\_ 中学1年生までの子どもたち12人が2班に分かれて約100戸の家をまわり、班ごとに異なるはやしことばはやしことばを唱えながら玄関の床をたたいてまわった。

1月6日

### 松浦魚市場初セリ



2



3

2 \_\_ 早朝5時威勢のいいセリ人の掛け声で今年のセリが始まった。3 \_\_ 入荷された合計336トンの魚は2階の入札室などでもセリが行われた。

1月7日

### 消防出初式



4



5

4 \_\_ 24分団、300人が式典会場へ向けて見事な分列行進を披露。5 \_\_ 式典の最後には消防車6台による一斉放水が行われ、防火・防災への意識を新たにした。

1月8日

### 志佐・庄野地区 ももてこう 百手講

松浦市指定  
無形文化財



6

6 \_\_ 矢を射て五穀豊穰を祈願する伝統行事。今年は浦田達彦さん、小瀬良英樹さんが地域住民らが見守る中射手を務めた。前半、イタビの木で作られた弓に慣れるのに苦戦したが、後半立て続けに的を射ぬき、50本中15本の矢が的中した。

取材できたもののみ掲載しています。